

ジャンル	子ども・教育	日本語学習	医療・福祉	労働	災害対策	意識啓発 地域づくり	推進体制の 整備	その他
事業名	外国人学校日本語指導事務委託事業 ～日本語を核とした外国人学校の子どもたちに対する総合生活支援事業～							
団体名	静岡県							

***** 事業のポイント *****

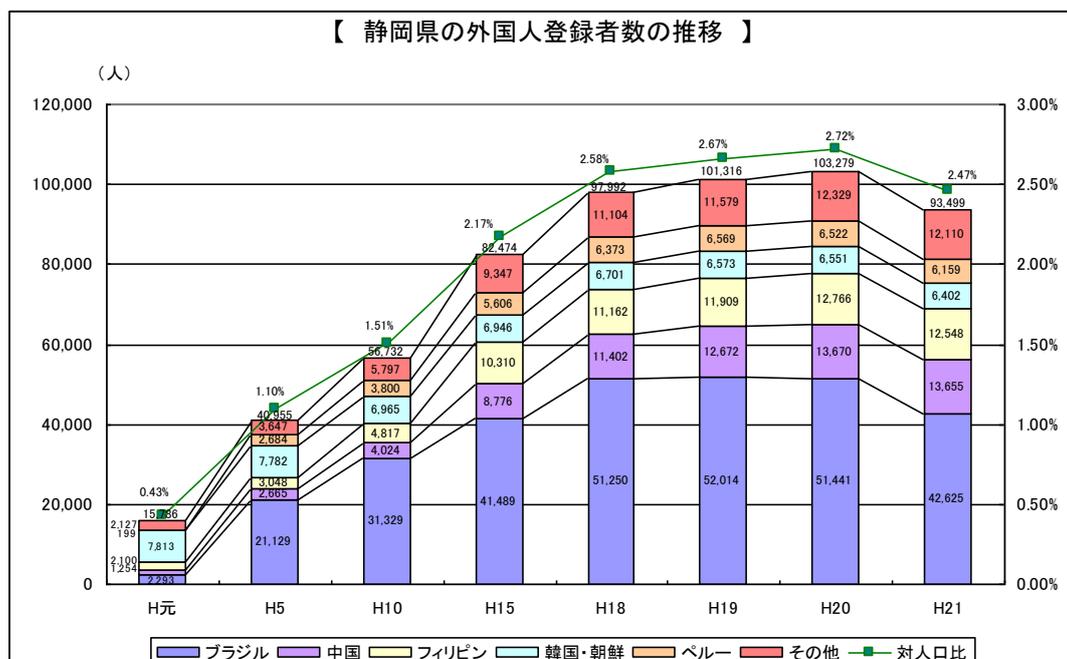
- 静岡県内の外国人(ブラジル人)学校3校の子どもたちを対象に、日本語学習を核とした総合生活支援事業を行った。
- 具体的には、日本語学習によって培われた日本語能力を中心にして、他の外国人学校や日本の公立学校との交流や防災研修を実施。
- 当該事業の実施に当たっては、JET参加者であるブラジル人国際交流員の能力を活用した。

助成年度 区分	平成 22 年度 地域国際化施策支援特別対策事業	事業総額	3,825 千円
------------	--------------------------	------	----------

事業の内容、成果等

【事業実施の背景・目的】

静岡県内の外国人登録者数は、昨今の経済不況により、ブラジル人が多数帰国した関係から 10 万人を割り込んだが、依然として、ブラジル人、中国人、フィリピン人を中心として 9 万人を超える外国人が在住しており、これらの住民に対する支援が大きな課題となっている。そのような状況のなかで、静岡県では特に外国人の児童生徒に対する支援に重点を置いており、日本語学習を核とした外国人学校の児童・生徒向けの総合生活支援事業を実施した。また、当該事業の実施に当たっては、JETプログラム参加者であるブラジル人国際交流員を活用している。



【事業内容】

民間の多文化共生、国際交流の中核組織である(財)静岡県国際交流協会へ業務委託し、外国人学校の児童・生徒を対象とした日本語指導、JETを活用した防災・教育支援等の総合生活支援事業を実施。

① JETプログラム国際交流員による静岡県紹介出前教室

ブラジル人国際交流員が事業対象のブラジル人学校3校を訪問し、静岡県の観光名所等を紹介する授業を実施。

② 地震防災研修

外国人学校の生徒を静岡県地震防災センターへ招き、地震・津波シュミレーター、消火器操作等を体験。

③ 日本語成果発表会

外国人学校3校の子どもたちが集まり、これまでに勉強した日本語の成果を発表しあう会を実施。

④ 公立小学校との交流事業

地域、日本社会についての理解を促進するため、近隣の公立小学校を訪問し、交流授業を実施。

⑤ 日本語教室実施

上記の生活支援事業に参加、理解するための基礎となる日本語教室を実施。

【工夫した点】

総合生活支援事業として、県庁内の他部局、公立学校等なるべく多くの関係者に当該事業へ参加をしてもらうようにする点を工夫した。

【成果】

① JETプログラム国際交流員による静岡県紹介出前教室

子どもたちや先生に自分が生活する静岡県を知ってもらう機会を創出し、ブラジル人学校が生活の中心である子どもたちに外の世界に興味を持ってもらうきっかけができた。また、この教室はJETプログラム参加者の能力を活用した新事業となった。

② 地震防災研修

東海地震の発生が予測されている静岡県では防災、災害時の対応を知ることはとても重要なことであるが、一部外国人県民には知識の不足が懸念されていた。この研修の実施により、子どもたちに防災や災害時の対応について楽しみながら理解してもらうことができた。

③ 日本語成果発表会

日常の生活が家と学校の往復であることの多いブラジル人学校の子どもたちには、学んだ日本語を披露する場がこれまでなかったが、今回の発表会の実施によりそのような場が設けられた。また、これまでではなかったブラジル人学校間の交流のきっかけが生まれた。

④ 公立小学校との交流事業

ブラジル人の子どもたちにとっては外の世界を知る貴重な機会となり、日本の子どもたちにとっては外国の子どもたちと交流できる稀有な機会となった。ブラジル人学校にとっては、新しい地域社会との繋がりがひとつ生まれることとなった。

⑤ 日本語教室実施

上記の事業を実施するための基礎として日本語能力が必要であり、各種の総合生活支援事業とあわせて日本語教室を開催したことにより、子どもたちの日本語学習モチベーションを高いまま維持できた。結果、子どもの将来に役立つ日本語検定の合格者も多数輩出された。

【将来に向けての展望】

・日本語教室を基礎として各種総合生活支援事業を実施したことにより、子どもたちに、より深く日本語の重要性を認識してもらうことができた。結果、子どもたちが日本語学習を続けていく際に高い学習意欲を維持することが期待される。

・総合生活支援事業の実施により、県、ブラジル人学校同士、教育委員会、防災担当部局等の間で新しいネットワークが構築された。今後は県を通さなくとも、それぞれの団体で新しい関係性が生まれることが期待される。

・県内に多数ある外国人学校で似た取組を行う際のモデルとして今回の事業を活用することが考えられる。



CIRによる静岡県紹介事業

子どもたちの感想(CIRによる静岡県紹介)

- ・ 静岡県のことをたくさん知ることができてよかった。とても面白かった。
- ・ 静岡県にこんなに面白い場所があるとは知らなかった。
- ・ 県内のいろいろな場所に行ってみたいと思った。
- ・ 日本のサッカーや神社を見に行ってみたいと思った。
- ・ 県内には他にも面白い場所があると思うので、それも知りたいと思った。
- ・ ポルトガル語と日本語の名前を当てるゲームが勉強になった。



地震防災研修の様子(静岡県地震防災センター)

子どもたちの感想(地震防災研修)

- ・ 地震体験では、強い東海地震を体験しているかのようなようだった。
- ・ 震度の違いを知ることができてよかった。
- ・ 地震の際の、非常食など準備しておくものを考えるきっかけになった。
- ・ 津波体験ゾーンのシュミレーターがとてもリアルで怖かった。
- ・ 防災食体験は初めてだったが、思ったよりも美味しかった。
- ・ 知らないことがたくさんあって勉強になった。



各学校による日本語成果発表会

子どもたちの感想(日本語成果発表)

- ・ 一番初めだったのでドキドキしたけれど、うまく話せてよかった。
- ・ しっかり練習したことが発表できてよかった。
- ・ みんなと一緒に発表でき、誰も間違えずにできたのが、よかった。
- ・ 汗をかきながら一所懸命歌っている子がいて印象に残った。
- ・ 他の学校の発表が聞けてよかった。
- ・ 一人ひとりが自分の役割を責任も持ててきた。



近隣の公立小学校との交流事業

子どもたちの様子(公立小学校との交流)

- ・ 日本の子どもたちは、予想以上にブラジルの子どもたちの日本語が上手く、またきれいに漢字が書けることに驚いていた。
- ・ 帰りには、日本の子どもたちが学校の外まで見送りに出てくれ、お互いに別れ難い様子だった。ブラジル人学校からは、次回は日本の子どもたちを同校へ招待したいという話が出ていた。
- ・ ブラジル人の子どもにとっては、外の世界を見る貴重な機会となり、日本の子どもにとっては外国人の子どもと交流できる稀有で有意義な機会となったようだった。